

第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

【奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直しの関連指標】


指標	令和元年度	令和3年度	目標値 (令和3年度)	担当
市民ふれあい交流事業 (ミニ直売所)(箇所)	6	-	10	農政課

※令和元年度で事業廃止した。


単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント
-	-	2	1	生産者と消費者のふれあい交流は地場産の新鮮で安心・安全な農作物の消費を促進し、地産地消の推進に寄与するとともに、温室効果ガスの削減にもつながる。イベントや商業施設と生産者のマッチングを行い、出張販売の機会の創出に力を入れて更なる発展を検討いただきたい。
総合評価		前年度からの進捗		
-		-		

指標	令和2年度	令和3年度	目標値 (令和3年度)	担当
農業地域と市街地との 交流参加者数(人)	-	56	100	都祁行政 センター 地域振興課

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の事業は中止した。令和3年度は、感染防止のため人数を制限して実施した。

単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント
5	3	3	3	農業体験は、市街地からの市民参加により、農業、農地、自然、生き物に愛着を感じていただき、地産地消の意識向上につながるいい機会であり、就農にもつながる可能性がある。今後も、アンケート等を実施し、参加者ニーズを知るとともに、いろいろな地域の魅力を発信していくためにも、適時事業内容の見直しをしながら農業体験を行っていくことに期待したい。
総合評価		前年度からの進捗		
A				

指標	令和2年度	令和3年度	目標値 (令和3年度)	担当
奈良県産学校給食食材 地産地消率(%)	41.0	48.4	50	保健給食課

単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント
5	4	3	3	「奈良県産学校給食食材地産地消率」は年々向上し、目標に近づいているのは高く評価できる。地産地消、食の安全、食育、フードマイレージの観点からも重要であり、児童生徒が生産者や生産過程を理解することで食物を大切に、食品ロスの削減にもつながる大切な施策である。地元生産者からの情報収集の機会を設けることなどにより、地域の理解と協力を得ながらさらに進めて行っていただきたい。
総合評価		前年度からの進捗		
A				

【実施事業】

1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体等が茶摘み体験などを行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（茶摘み体験、ブルーベリー採り、秋の収穫体験）を行っています。

2 市民ふれあい交流事業

【ふれあい交流ファーム】

農村地域において農業従事者からの耕作指導を受けながら農作物を育てる実体験を通して市民間のふれあいを深める場を「ふれあい交流ファーム」として提供しています。



3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しております。平成30年度（2018年度）より関係機関と定例会を実施し、今まで使用実績のなかった地元食材を給食に取り入れることができ、奈良県産学校給食食材地産地消率は、48.4%となりました。今後も食育の推進、地域活性の観点からも、地産地消の推進に取り組んでまいります。